

たんちよう



謹んで新春のお慶びを申し上げます

代表理事組合長	植田 晃雄	理事	大碓 理男	監事	尾田 猛
代表理事専務	瀧澤 義一	理事	松下 和波	監事	瀬戸 計見
常務理事	渡辺 巖	理事	岡嶋 賢悟	監事	阿部 博
副組合長理事	田井 愷	理事	対木 範誉	監事	石川 篤四
理事	五十嵐 昇	理事	大和田 克清	参事	菅 寄通晴
理事	高橋 達雄	理事	成田 俊英	参事	梶原 英光
理事	齐藤 滋	代表監事	林 隆美	参事	役職員一同

CONTENTS

- 新年のあいさつ《代表理事組合長 植田 晃雄》——1
- 新年のあいさつ《北海道農業協同組合中央会会長 宮田 勇》——2
- 新年のあいさつ《代表理事専務 瀧澤 義一》《常務理事 渡辺 巖》3
- 普及センター便り ライフプランの作成は営農収支の把握から——4
- JA事務所紹介 Vol.2【幌呂地区】——5・6
- 編集後記——7

新年のごあいさつ



代表理事組合長

植田 晃雄

皆様明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで希望を胸に健やかに新年をお迎えの事とお慶びを申し上げます。

昨年の春先は低温に悩まされましたが、夏場、異常な高温で秋遅くまで暖かな日が続き、人畜草にとっても良い夏でありました。しかし一方では、大雨、大型低気圧の通過や、過去に例を見ないような竜巻で大きな被害が出るなど、地域によっては大きな災害を蒙った一年でした。そのなかで当地域につきましては、特に大きな被害もなく過ごせたのは何よりだったと思います。

昨年6月1日、組合員のご理解と大きな期待を頂きながら、4JAが合併をいたしました。グローバル化が進み、複雑化する経済社会の中にあつて、組合員の皆様に求められたニーズに対応し、地域農業の振興、組合員の営農と生活を守るための組織として、新たに出発いたしました。

現在、農業、JAを巡る情勢は、国際化の連波、改革と競争社会の経済的影響を真正面に受けながら、なお年々その厳しさを増しております。WTO交渉が各国の勢力的な事情等もあり、先延ばしの状態にあります。そのような状況の中で、急速に交渉入りした日豪のEPAが進展し、も

し、重要品目とされている牛肉乳製品等の関税が撤廃されてしまうと、北海道農業の壊滅、関連産業の崩壊が予想され、結果、地域社会の崩壊にもつながりかねない大問題となっております。

往時、北海道酪農は強いと言われて来ましたが、近年、飲用乳の消費低迷が続く中、平成18年はいよいよ生産調整の止むなきに至りました。その結果、実値生産量は減り、乳価が下落する一方で、石油をはじめとする生産資材の高騰で農家経済は厳しさを増しております。

対策として農協は、生産基盤の弱体化を防ぐために、乳牛保留資金、営農改善資金等の支援策を営農指導の強化と併せて講じてきたところであります。

北海道農業は、特に日本の食料基地としての位置づけがされており、安心、安全な食糧を生産供給する責務がありますし、大きな期待もかけられております。私達はこの時に当たり、厳しい環境の中で弱者が集い、協同の力で強い集団を作り、今日の日本農業を築いた先輩たちのことを、改めて省みて難関を乗り越えたいものです。

組合員、青年部員、女性部員、役員、職員がそれぞれの立場で役割を十分理解し、JAくしろ丹頂の結束を強める事こそ、課題解決の糸口であると信ずるものであります。

本年、必ずしも平穏無事ではないかもしれませんが、行動することでお前を回り、太陽の恵みを期待しながら稔り多い秋を迎えたいと思っております。ご家族お揃いで健康で幸せな一年になりますよう、心からお祈り申し上げます新年のご挨拶といたします。



新年にあたり



北海道農業協同組合中央会
会長 宮田 勇

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先の天候不順で、収穫期の作柄を心配しておりましたが、その後の好天により地域差はあるものの全体的には総じて良好に推移しました。特に米の作況指数は、105と昨年引き続き豊作となりました。しかし、10月以降本道を襲った低気圧、竜巻・突風などにより、一部地域において農地や施設に大きな被害が発生いたしました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて農業・農村・JAを取り巻く環境は、WTO農業交渉が先送りとなつていの中で、政府は日豪FTA・EPA交渉に入る方針を固めました。日豪交渉では、本道の主要農畜産物の多くが競合しており、仮に関税が撤廃されることになれば、本道農業に壊滅的な打撃を与えることは明白であり、予断をゆるさない状況にあります。

JAグループ北海道といたしましては、今後とも米麦、牛肉、乳製品、砂糖など重要品目の関税撤廃の例外化の確保にむけて、引き続き経済・商工・消費者団体など関係団体との連携を強化し、粘り強い運動を継続してまいりる所存であります。

次に、品目横断的所得安定対策につきましては、すでに小麦で加入申請が進んでおり、本年からの移行に支障が生じないよう万全を期してまいりたいと存じます。また、新

エネルギーを目指すバイオエタノールにつきましては、19年度から実証プラントをホクレン清水工場内に建設を開始し、21年度操業をめざしてまいりたいと存じます。

また、昨年は規制改革・民間開放推進会議による「信用・共済事業の分離・分割」、「独占禁止法の適用除外」などJA組織の存続にかかわる問題が提起されております。引き続きJAに対する道民の理解を深める広報対策を強めてまいりたいと存じます。

さて、昨年は3年に一度開催される「第25回JA北海道大会」が開催されました。向こう3カ年における北海道農業・JAが取り組む指針を決める大会であり、北海道農業が日本の食料基地としてさらにステップアップを図るため、食料自給率の向上と消費者への安全・良品質な農畜産物の供給を目指すとともに、JA経営では自己責任に基づく経営の健全化を図り、JA合併を中心に強靱な経営基盤を確立することが必要であると思っております。

これまでの社会は、ひたすら物質的豊かさを追い求めてきました。その結果、経済効率、企業優先の社会となり、資源や環境の破壊をもたらしてきました。しかし、環境や資源、安全などが重視されるようになり農業、JAに対する見方も随分変わってきました。競争から共生の社会へ時代は変化しています。いまこそ「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念を全員が意識し、「共生の世紀づくり」にまい進しようではありませんか。

JAグループ北海道は、組合員、JA、地域住民の期待と信頼に応えるため、これからも全力で取り組んでまいります。

最後に、本年は災害がなく豊穡の出来秋を迎えることができますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



代表理事専務
瀧澤 義一

組合員、御家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。2006年6月1日に新生釧路丹頂農協が誕生し7ヶ月を経過して、初めて新年を迎える事となりました。

広範な地域での合併農協事業展開となることで、役員は相当な緊張感をもって臨んだスタートでありましたが、組合員、地域の皆様の深いご理解により、大過なく経過させていただきましたことに心より感謝を申し上げます。当農協としては無難な船出という所ではありますが、昨年の酪農を取り巻く情勢は難局の連続であり、皆様にも大変なご苦労とご心配をおかけした1年でありました。飲用生乳の消費低迷と脱脂粉乳の過剰在庫は、酪農乳業界に暗い影をおとし、18年度生乳計画生産は、タイプA・B選択性を採用しながら、現状維持、微増を目指したタイプAにおいても、抑制、減産計画に取り組みざるを得ませんでした。さらに石油関連製品の高騰などから、生産資材価格は上昇しており、経営努力では抗し難いほどに経営所得は減少しております。

合併初年度としては苦難の連続であり、2月末決算となる農協事業収支も、当初計画を下回る状況となっており、下期更正計画で事業管理部門の経費削減を中心に役員一丸となって取り組み中です。厳しい状況ばかりを述べましたが、北海道の酪農は、過去にも幾度となくこのような難局を乗り越え、現在があるのです。釧路丹頂農協が発足し、約220戸が生乳約10万トンを生産する酪農地帯としては道内有数の事業規模となつている訳ですから、経営と生活を守る組織力“を最大限発揮することが、合併農協の役職員の責務と痛感しております。

今年が猪年ですから、猪突猛進と行きたいところですが、現実、環境を見極め、農協合併2年次となる本年が真に一体感のある組織構成と、合併で目指した理想理念の実現を図る重要な一年となります。

組合員皆様ご家族お揃いで健康で稔り多い1年となりますよう祈念し、新年のご挨拶いたします。

努力の心新たに



常務理事
渡辺 巖

新年明けましておめでとうございます。皆様と共に新しい年を迎えられましたことを嬉しく思います。

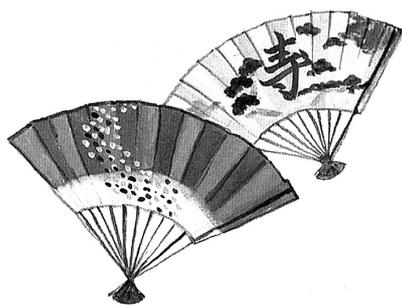
昨年11月にJ Aグループ北海道は、第2回J A北海道大会を開催しました。そこで、世界貿易機関(WTO)農業交渉やオーストラリアとの自由貿易協定(FTA)交渉など国際化が進展する状況に対応して、組合員がJ A運動の主人公であるとの協同組合理念を再確認し、住民の信頼と支持を得て、組合員とともに新たな時代に積極果敢に挑戦する農業とJ Aを創っていくことを決めました。

現在、農業・農村を取り巻く情勢は、経済のグローバル化、需給の不均衡、環境問題など多くの課題を抱えながら、その対策に取り組んでいます。

4 J Aが大同団結し、新生「釧路丹頂農協同組合」が誕生して7カ月が経過いたしました。合併にあたって基本方針として掲げました組織基盤の拡大強化、財務基盤の確立、経営管理機能の強化、現有経営資源の有効活用等を、総合事業機能・運営管理機能を発揮することより目的を達成すべきとして、各事業部門毎に合理化・効率化を追求しつつ努力中であります。

当J Aの役員あげて、地道な努力を積み上げることに、組合員をはじめ地域社会から信頼され、地域社会に貢献していただけるJ Aとして、発展していきけるものと信じ、全力を尽くしてまいります。

本年が、輝かしい将来に向けた発展の年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



よりよい営農と生活のために
ライフプランの作成は
営農収支の把握から

農業は家族経営が主体です。生活が優先とはいえ、農家所得がマイナスでは充実した生活は望めません。営農意欲も減退します。収入に応じたライフプラン（生活設計）と計画的な資金づくりが必要です。

ライフプランを作成することにより、子供の教育資金はもろろんのこと、所得の向上を図るための経営投資時期の検討などができます。

ライフプランを作成するには、計画当初の一年間の営農収支の実態を正しくつかみ、「家計仕向け可能額」を確認することが大切です。

18年度の組合員勘定取引伝票（クミカン）を使って、次の表の事例を参考に、「我が家の営農収支」を把握してみましょう。



1年間の経営収支の把握と家計仕向け可能額の確認

作業1:18年1月～12月の組合員勘定取引伝票（クミカン）を使い①～⑩の月別合計額を転記します。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
クミカンの収入欄より①②の数字を月別に転記													
①農畜産収入	260	240	250	380	400	400	230	230	500	400	400	450	4,140
②その他収入（農外収入含む）	3	3	3	3	3	3	5	5	3	3	3	3	40
③収入合計①+②	263	243	253	383	403	403	235	235	503	403	403	453	4,180
④農業支出合計	182	168	175	266	280	280	161	161	360	325	340	315	3,013
クミカンの支出欄より④～⑨の数字を月別に転記													
(ア) 農業所得③-④	81	75	78	117	123	123	74	74	143	78	63	138	1,167
(イ) 農外所得（経営外の収益・費用）	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	34
(ウ) 農家所得（ア+イ）	84	78	81	120	126	126	77	77	146	81	65	140	1,201
⑤家計費（専従者給与含む）	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	576
⑥貯金・長期共済掛け金	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
⑦借入金返済									50	50	60	65	225
⑧資産取得													0
⑨その他													0
⑩財産的支出計⑤～⑨計	78	78	78	78	78	78	78	78	128	128	138	143	1,161
★差引き額：(ウ) 農家所得-⑩	6	0	3	42	48	48	-1	-1	18	-47	-73	-3	40

★単年度経済余剰の確認

経済余剰

作業2:作業1の数字を拾いながら家計仕向け可能額を求め生活設計の作成準備をします。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
☆単年度の家計費を把握													
⑤の家計費を転記	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	576
⑥の貯金・長期共済掛け金 家計仕向けのみ転記	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
⑦の住宅など家計用借入金転記									21	21	21	21	84
(イ) 農外所得（家計仕向け80%）	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	1.6	1.6	27
家計費合計	65	65	65	65	65	65	65	65	86	86	85.6	86	867

生活設計樹立のための家計仕向け可能額

算出結果はいかがでしたでしょうか。

なお、農家所得の把握にはクミカン取引の他、現金取引の発生も考えられます。（農畜産物販売による現金収入、家計費による営農費用購入など）

家計仕向け可能額の確認は、18年度の領収書（現金出納帳含む）も参考に、より正確な額を算出してみましょう。

明るく豊かな農業経営と農家生活を実現するために、次のステップとして計画的な生活設計をたてることをおすすめします。

※生活設計の作成に当たり、普及センターでは、パソコンを使っているプログラムソフトを用意しています。お気軽にご相談してください。

Vol.2

今回は
幌呂地区です。

事務所 鑑



金融共済部

【幌呂支所】支所長／泉 力男 係長／高井 佳美
係／松原 洋子 平川 秀樹 鈴木 久美子
◇管理業務、金融業務、共済業務



【営農支援課】係長／村上 弥
◇営農支援指導方策等の立案と実践、農作業受委託、農業機械利用組合の育成指導、コントラクタ事業の運営指導
【幌呂育成牧場】場長／岡田 良広
係／澁谷 実 浜名 意也 上野 三郎
松井 宏篤
出向／伊田 俊朗(全酪連)
◇育成牧場事業の運営管理



営農部 部長／鶴岡 智史

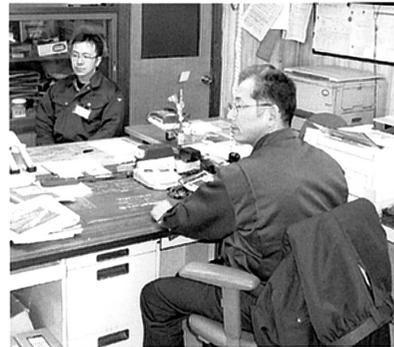
【営農課】課長／金森 重彰 係長／田中 郁尚
係／神谷 治

◇総合的企画開発業務、組員教育、農政・広報業務、青年部・女性部等の育成指導業務、生活活動の推進業務、補助事業等の実施業務、経営経済指導業務、農家経済再建対策指導業務、農業(農家)融資審査業務



【生乳課鶴居地区集乳担当】

調査役/小池 一夫
係長/浅川 広明
係/ 澁谷 松男
長屋 英俊
田中 淳一
派遣/佐藤 誠(大松運輸)
◇生乳集荷業務



【生乳課】 課長/政木 春実 係長/菊地 哲男
係/鈴木 紀博

◇生乳集荷業務、生乳検査業務、生乳検査施設の運営管理、乳質改善指導、生乳集荷路線の設定変更



【購買部】 部長補佐/小泉 聡

【生産資材課幌呂店】 店長/山村 正幸
係/金森 彰美

◇購買業務



【家畜改良課】 課長/牧野 稔 係長/吉田 剛
係/海田 治 田中英靖 鈴木 俊史
菅田 喜之 佐々木 直敬 松原清美
準/小澤 まり子

◇人工授精業務、家畜改良・登録・共進
会・共励会の開催、集団防除対策、家
畜の飼育管理改善指導



【燃料課幌呂給油所】 所長/菊地 雄次(兼務)
係/高橋 明雄
パート/白木 京子

◇給油業務



【生活課Aコープ幌呂店】 店長/山村 正幸(兼務)
係/小野寺 淳子
パート/川島 よし子

◇店舗業務



フリーダイヤル安心サービス

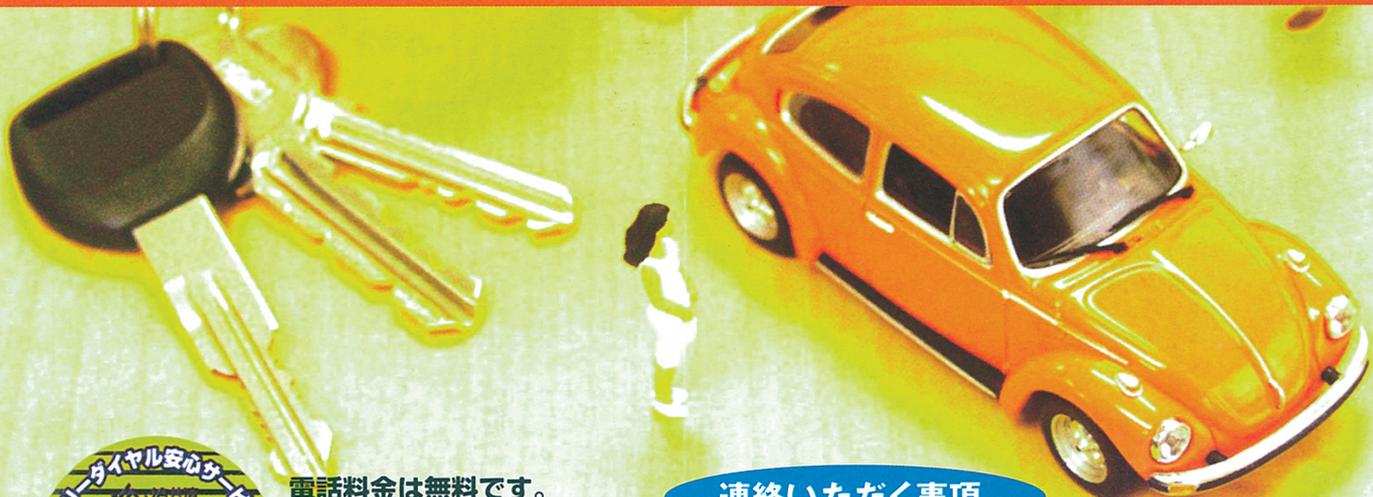
24時間
365日

ご契約の自動車の事故やトラブルは ご契約のJA(業務時間内)もしくは

0120-25-8931

フリーダイヤル

携帯電話・PHSからもつながります、救急119・警察110もお忘れなく



電話料金は無料です。
公衆電話で電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

全国どこからでも電話することができます。
ただし、ピンクの公衆電話からフリーダイヤルはご利用できません。

連絡いただく事項

- ご契約いただいたJA名
- 相手の氏名・連絡先
- ご契約番号、車ナンバー
- 事故の日時・場所・内容など
- ご連絡いただいた方の氏名と連絡先
- トラブルの内容・場所など

安心の5つのサービス



故障時現場急行サービス
外出先での故障などの場合に現場に急行し、緊急修理を行います。
※JAF会員の方には、JAFによる修理を案内します。



レッカー現場急行サービス
事故や外出先での故障などにより、自力走行不能となった場合に、レッカーで現場急行し、無料でけん引します。
※現場から15km以内のレッカー移動が対象となります。
※特殊な引上げ作業など、有料となる場合があります。



休日契約者面談サービス
休日(土・日、祝日)または休前日の夜間の事故でも、相手が入院した場合など重大な事故のときは、専任スタッフがご契約者側との面談を行い、事故に関する相談をお受けします。



夜間休日初期対応サービス
事故受付センターにご連絡いただいた事故について、JAの営業時間外でも、初期対応サービス担当者がご契約者や事故の相手方と連絡を取り、修理工場への連絡等必要な対応を迅速に行います。
※対人賠償事故(人身傷害事故含む)、対物賠償事故、車両諸費用保障特約の付いた車両単独事故が対象となります。
※平日17時～22時、土日祝日9時～22時が対応時間となります。



夜間休日現場急行サービス
事故受付センターにJAの営業時間外にご連絡いただいた事故について、事故現場へ対応員を急行させ、事故状況の聞き取りなどを行うサービスです。
※事故現場からお電話いただき、現場急行を希望されている事故が対象となります。
※原則として、対応員の出勤地点から事故現場まで30分程度で到着できること(高速道路上等の一部の場所を除く)が条件となります。
※平日17時～23時、土日祝日8時～23時が対応時間となります。
※JA共済より職務委託を受けた総合警備保障(株)の対応員が急行します。



<http://e-service.ja-kyosai.or.jp/>
上記アドレスで自動車共済お見積りサービス中



編集後記 EDITOR'S NOTE

■今回の表紙写真(タンチョウ・日の出)ですが、ホームページ「北の風景写真」を開設している網走在住の榎屋さんからお寄せいただきました。ホームページアドレスは<http://digi1982.blog4.fc2.com>です。われわれが普段は気づかないような道東の魅力が満載のサイトですので、一度ご覧になってはいかがでしょうか。榎屋さん、ご協力本当にありがとうございました。

(訂正とお詫び)
第6号の辞令発令の項に右のとおり誤りがありましたので、訂正しますと共にお詫び申し上げます。

[正] 菊地 仁 白糠支所営農販売課生乳係長を命ずる。
[誤] 菊池 仁 白糠支所営農販売課生乳係長を命ずる。